29 de Julho de 1921 No. 199

Noticias do Brazil

大正十年七月廿九日　金曜日　第百九十九號

伯剌西爾時報

NOTICIAS DO BRAZIL
Publicado semanalmente
Rua Fagundes N. 16
Caixa Postal H
Tele. Central, 5695
S. Paulo, Brazil
Proprietario e editor
Seisaku Kuroishi

Assignaturas
por Anno ………… 15$000
„ Semestre ………… 8$000
„ Mez ………… 1$500
„ Semana ………… $500

教科書編纂

◇公使並に總領事に一と奮發を望む◇

伯國に於ける日系兒童の補習敎育に關聯し、特殊敎科書編纂の急務なるは、吾輩の是まで屢々發表する處であるが、未だ一向之が社會の反響を惹起さないのみならず、日本でさへ時代遲れと認むる文部省現行の敎科書其儘を用ゐて平然たる者の少なくないのは、果して補習敎育なるものの眞意を了解し居るや否やを疑はざるを得ないのである。

併し眼を少しく遠方に放つと、北米加州在留の同胞は、同州の外國語學校取締法に適應するの必要上、目下日本語の敎科書編纂を企てつゝあるのを見るのであるが、比較的日本人の發展に古き歷史を有する加州で是まで日本語敎科書の編纂をなほざりにせしは、蓋し彼等の手落であつたとするも、兎に角其非を覺つて此の度實行の幕に入つた彼等の行爲は伯國に在る吾々の直ちに取つて學ぶべきものであると同時に、深く內容を硏究して之が實行を計るを必要とする。

然らば加州在留同胞の日本語敎科書編纂に關する趣旨及び方針なるものの奈何と云ふに

一、日本語補習敎科書は日系兒童に正確なる日本語を敎授する目的を以て編纂するものなり

二、日本語補習敎育の年限を八ケ年とし其敎科書の卷數を十六卷とす

三、敎科書の頁數は一卷平均八十五頁とす（一日平均一頁を敎授するものとし一年の授業日數を百七十日と見て一年に二卷敎授する計算なり）

四、敎科書の形式的方面として

（イ）片假名の敎授日數を半ケ年即ち八十五日とす

（ロ）平假名は卷の四より始むる事とし敎授日數を四十二日間とす

（ハ）漢字數は一千五百字を限度とし一日平均一字强敎授の割合（八年の日數は百七十日の八倍即ち千三百六十日なるが其內片假名及び平假名敎授の日數百廿七日を除けば千二百卅三日となる計算なり）

（ニ）漢字選擇法は新聞雜誌に多く顯はるる字）文部省讀本及びタイプライターの漢字參考）

（ホ）漢音は問はず

（ヘ）假名使ひは文部省の現行讀本に據る

（ト）文體は六年まで口語體とし七年には二割、八年には二割五分の割合に文語體を挿入す

（チ）候文は文語體の一部として一二の文例を挿入す

（リ）單に文學的方面のみならず成るべく多方面より必要なる言語を選擇採用すること

五、實質的方面としては廣く材料を（在留國公立學校の各科敎科書、日本現行敎科書、在留國及び日本に於て特に外國人として自國語を敎授する目的にて編纂せる敎科書逸話、地理、歷史、童話、一般報道、現代名士の手に成りたる東西兩洋文學の飜譯、新聞雜誌及び在留國に於ける日本人發展史）に求むる等である。

是に由つて之を考ふれば、加州在留同胞の日本語敎科書編纂は讀本に重きを置てゐる樣であるが、伯國に於ける吾々の望む處は、讀本よりも寧ろ修身書の編纂にヨリ多く重きを置くのであるから、從つて其材料の蒐集たる加州の其れと大に異ならざるを得ないが併し其蒐集の方法及び範圍は大體に於て吾輩の考案と一致するものであるから、愈々伯國在住の同胞が敎科書編纂に取掛る場合は加州の其れを參考とすべきを便宜とするや勿論である。

但だ爰に一つの難問題は費用である、加州在留の同胞では其費用を計上して八千弗（單に材料蒐集費）とし日本人會と一般同胞と折半して之が負擔に應ずると云ふことであるが伯國在住の同胞には未だ鞏固たる公共團體もなく、又一般同胞の經濟力甚だ微弱であつて、現在多額の負擔に堪へ得ない狀態に在るから、敎科書編纂の費用は移民保護の名義に於て母國政府から支出して貰ひたい、而して其額は日本金二萬圓もあらば十分であるから、此の際堀口公使並に藤田總領事に、之が支出に對し是非一と奮發して頂きたいものである

●ブラジル大統領選擧運動

分離派の副大統領候補者セアブラ氏は、副大統領候補者の資格にて來週月曜日聖市に乘込み、市內の一劇塲に於て政見發表演說を日夜兼行で行るとの觸れ出して、同氏の代表者は既に來着、州統領及び州共和黨幹部と頻りに交涉中とあれば、此の政見發表演說は大に聽きものなるべしとは一般の聲である。

●クレマンソウと歐洲戰爭

佛國前首相クレマンソウ氏がヴイシイの靜養地で一新聞記者に語りたる言として世に傳へらる所に由れば、歐洲戰亂の際に於ける氏の奮鬪中最も戰局に影響のあつたのは三つである、則ち其一は佛國內の裏切者を撲滅した事、其二は聯合國司令部の統一を附くる爲め聯合國政府を說服した事、其三は戰爭に對し殆ど失望したる佛國下院の意氣を回復せしめたる事であると。

又ヴエルサイユ條約に關しては、同條約は固と〳〵普通の形式を以て締結されたものではないが、列國の首腦者一堂に會し公平な意見に依り且つ世界の勢力均衡を確立せしめんとする希望から議定したものであるから、其結果は當然有力ならざる可からずと。

●大戰後世界の三大現象（下）

瓊川生

▲戰後の三大問題

かういふ大變動を受けた戰後の世界は種々な方面より大なる影響と變化とを受けてある。思想上に於ては國際主義が講和會議の前後に於て盛に唱へられ、今日に傳はつてゐるが、一面には又猛烈なる國家主義が實際の國際問題を處理する上に於て强烈の色彩を有し、此兩主義が相對立する形をなし、社會上に於ては戰爭が國民本位、民衆本位であつた結果として民衆の力の增進、特に勞働者の勢力增進となり、勞働に關する規約が平和條約の一編をなすに至つた。勞働者の權利の伸强せられたことは各國に共通した現象で君主國は共和國となるもの多く、勞働者の勢力增進は資本家と衝突して所在にストライキとなつて現はれた。就中勞働問題で最も進める英國では三角同盟結ばれ鐵道、炭坑の二大罷業が一昨年と昨年とに起り尋で現に三角同盟が英國產業の基礎を搖がさんとせること人の知る通りである。かく部分的に戰爭の生んだ現象を捕へ來れば限ないのであるが、余は戰後の世界に最も强く色づけつゝあるものとして、戰爭そのものゝ結果と講和條約より來つた結果とを擧げたいのである。戰爭そのものゝ結果として現はれたことは、一に一九一七年十月世界最大の專制國ロシアが急顚直下、過激なるボルシエヴイキの政治となり、二年八ケ月後の今日に續けることである。第二は世界に於ける紙幣の濫發、物價の騰貴、公債の增加等各國經濟界を一貫せる破產的經濟難である。尤も日米兩國は戰時に於て大に國富を增加し、戰前に於ける面目を一新したのであるが、戰前に富强世界に冠絕した歐洲の各國は戰費を增稅と公債借金上に仰いだ爲に、國民の租稅的負擔が荷重となつた。戰費の支辨は直に公債を發行するもあり、或は一時借入金、大藏省證券等により、次で公債を起して此等の債務を支拂へるもあり、何れにするも、公債は激增し、從て紙幣は增發せられ、物資の不足と相待つて物價の暴騰を來たし、國民を生活難に陷れ、國家を財政難に苦ましむるに至つた。これは戰爭直接の結果であるが、戰後の賠償金問題も亦戰敗國の負擔となるので、戰費支辨の公債と同一の結果を齎らすのである。平和條約は對獨條約が大正八年六月二十八日調印せられて翌年一月十日より有効となれるを始とし、對墺條約は八年九月十日調印、翌九年七月十六日より有効となり、對匈條約は九年六月四日調印し、對勃條約は八年十一月二十七日調印、翌九年八月九日有効、對土條約は九年八月十日調印したのである。此等の條約は交戰兩者の批准を經て有効となつたけれども、其內容に就ては償金其他の如き大問題で未だ決定せない點もあり、又既に決定したものでも種々の事情によりて改訂を問題とするもあり、而して聯合各國の利害關係と舊同盟國側の態度とが問題ごとに各異る所あり、錯綜して歸一する所なく紛糾せる問題を現に惹き起しつゝある、併し條約の結果と見るべき共通的問題は國際聯盟の組織せられたこと、國境の變更、特に小國の分立したこと及戰敗國の經濟的負擔の激增せることの三點に歸着するであらう。ボルシエヴイキの前途は解き易からぬ一の謎である。故にこの問題を外にすれば世界の現勢に共通せる現象は國際聯盟、國境の變更、經濟的困難の三者に歸結することが出來る。無論各國に付きそれ〳〵の大小問題を提起すれば千態萬狀、殆ど限りないのであるが、余は以上の三點特に最後の經濟的困難を主として說明すれば、最近に於ける世界の趨勢を窺ふに足ると信ずる、機會を見てその內容を硏究して見やう。

製本出來

ブラジル語
講習錄　出版廣告

御待兼ねのブラジル語講習錄の製本が出來ました
本講習錄は初學者獨習の唯一無二の良書であります
本講習錄は伯語に邦字を用ひて發音と譯とを附しました
特に會話の部には實用向きの話澤山に載せました
附錄には日伯兩語の諸願、諸屆書の雛形を網羅しました
又日伯兩語の藥名、使用及病名便覽を添へました

實價は一部拾ミルレース外に送料（書留料共）一ミル
發送は今週から着金順に依り發送して居ります
部數に限りありますから賣切れぬ內御注文を乞ふ

發賣所　伯剌西爾時報社
NOTICIAS DO BRAZIL
CAIXA POSTAL, H　S. PAULO

取次販賣所　瀨木商店
Y. SEGUI
CAIXA POSTAL, 1771,　S. PAULO

▼▲ 東西南北 ▼▲

◆露過激派治下では旱魃の爲食物がなくて困つて居る處へ虎列剌其他の惡疫流行し始め人心動搖之を機會に取つて代らんとする反過激派あり

◆搗て加へて過激派軍隊では給與品充分ならずとて不平の聲旺んに起りレニン政府は饑民救濟、疫病撲滅、軍隊鎭撫に目下夜の目も合はず

◆饑民救濟策を講ずる爲政府はクラッシン、ゴルキー等を委員に任じ小兒への牛乳配付及各地に大規模の食事給與所を公設する事に決定した

◆處がペトログラドの勞働階級は腹が減つて居る處へ反過激派が煽動したので暴動を企て政府は戒嚴令を布くといふ騷ぎ禍は單獨にて來らず

◆バルチック沿海の新共和國エストニア、ボロニア、レトニアの各外相ヘルシングフォルスに會し露過激派に對し一致の步調を取らむと協議す

◆無ければ欲しくなるが人情で此頃では米國へ大仕掛けの酒類密輸入が行はれ政府も鵜の目鷹の目犯人を搜せど見付からずと禁酒令も影薄し

◆モロッコ土人の叛亂は大に西班牙軍を苦しめ一將官戰死し三佐官敗戰を恥ぢて自殺す土人の指揮者は近代戰術に長じたる者ならむと噂高し

◆佛國の『老虎』クレマンソー、ウルグワイ新聞記者に語りし談話中に亞爾然丁及西班牙が大戰の際中立せしを非難し其他穩かならぬ言辭あり

◆聯合通信員早速電報にてヴイシイに在る『老虎』に其信僞を照會した處そんな人と會見したる事なしとの返電公表されウルグワイ記者嚇怒す

◆伊國飛行家伊國製の機でエストニア首府レヴアルを中心としてバルチック海沿岸の諸都市に一日一回の飛行郵便を開始し成績大に良好なり

◆アンデスを飛び越えて有名になつた女飛行家ボラン孃目下佛國に歸省中なるが近々來伯リオ及サンパウロにて其鮮かな飛行振りを見せる由

◆英國の旱魃は倫敦市の水道水源地テームス谿谷の水量を減じ同市の一日の消費量平均八百八十二萬石の處二ケ月此方百廿三萬石しか供給し得ず警察は盜賊より水浪費者に注意

◇今週の外電◇

▲軍備制限會議

軍備制限程度及び太平洋並に極東に關する諸問題を協議決定する爲め北米政府の首唱の下に日、英、佛、伊、支等諸國の參加を得て華盛頓に開催せられむとする所謂軍備制限會議に關し日本政府が二十七日北米政府へ送附したる回答書に依れば、日本政府は北米提唱の該會議に參加する事に贊成なるが、該會議に於ける太平洋並に極東問題の範圍に就ては愼重に決定せん事を望むものなりと云ひ又日本政府は人類の幸福と進步を安全ならしむる恒久平和の確保に貢献せん事を希ひ、該會議が豫期の効果を收め且つ其理想の實現の日の早からむ事を祈るものなり、而して該會議の成功を期せん爲めには豫め會議日程を主目的に副ふ如く編成し且つ或る種の問題即ち單に一二國のみに關する問題は細心の注意を以て該日程より分離せしむるを便宜ならむと思惟するものなりと通告したりと

▲軍備制限會議開催期

北米政府は軍備制限會議の開催期に關しては參加國と協議の上決定せん意嚮なるが、之に關し日本政府は休戰條約締結紀念日たる十一月十一日が適當ならむと云ひ、英國は來春を以て開催する方都合よからむとの意を仄めかせりと

▲日本の條件附參加

倫敦電報に依れば、同市に在る日本一高官は日本の軍備制限會議參加に關し左の如く語りたりと

『日本は太平洋問題討議に就て異議なき旨北米政府へ通告したり、然れども北米政府の參加勸誘狀には日本が會議プログラムに關し提議したる問題の全部は記載されざりき、日本は會議に先ちて其プログラムを論議決定するの條件を以て參加を承諾すべし』

▲北米造艦計畫續行

北米海相デンビー氏は其造艦計畫の續行に就き一新聞記者に、北米は軍備制限に關する協定成立する迄既定の造艦計畫を中止するの要なしと語り、英國が首相ロイド、ジヨーヂ立案の造艦計畫を續行せるの事實を指摘したり

◇經濟欄◇

●サントスの外國貿易

—自一月至五月—

價格（磅）	一九二一年	一九二〇年	前年に比し
輸出	一〇、七七三、八四八	二九、七〇八、一五三	減一八、九三四、三〇五
輸入	一〇、九八七、八三八	一二、五一〇、三五五	同 一、五二二、五一七
入超	二一三、九九〇	出超一七、一九七、七九八	

昨年は一月より五月に至る間に於て千七百萬磅の輸出超過なりしが、本年同期に於ては却て二十一萬磅の輸入超過となりたり、サントス港の貿易に於て輸入超過の結果を見たるは空前のことなり

●自一月至五月伯國の外國貿易

——本年と昨年

▲數量、單位一噸（一、〇〇〇キロ）

	一九二一年			一九二〇年		
	輸出	輸入	差	輸出	輸入	差
一月	一八〇、〇二二	二六八、〇三三	入超八八、〇一一	一四七、四八三	一六三、七三五	入超一六、二五二
二月	一四九、一四七	二三六、五八一	同 八七、四三四	一一七、八〇〇	二四六、八二一	同 一二九、〇二一
三月	一七五、五四九	二〇五、二六二	同 二九、七一三	一七八、三三六	二五九、五六九	同 八一、二三三
四月	一四八、四二七	一九〇、九三八	同 四二、五一一	一六二、六五三	二四八、〇八四	同 八五、四三一
五月	一三四、一六八	二三七、一八六	同 一〇三、〇一八	一九九、七三七	三五四、一一九	同 一五四、三八二
五ヶ月合計	七八七、三一三	一、一三八、〇〇〇	同 三五〇、六八七	八〇六、〇〇九	一、二七二、三一八	同 四六六、三〇九

▲價格、單位一千磅

	一九二一年			一九二〇年		
	輸出	輸入	差	輸出	輸入	差
一月	四、九七〇	一〇、四五一	入超五、四八一	一二、二七二	六、五三〇	出超五、七四二
二月	四、六〇一	六、九九〇	同 二、三八九	一〇、九三〇	八、六四一	同 二、二八九
三月	五、一二八	六、七三二	同 一、六〇四	一三、八五四	七、六四五	同 六、二〇九
四月	四、五一一	四、七五八	同 二四七	一〇、六二一	八、二七八	同 二、三四三
五月	三、五九三	五、三〇〇	同 一、七〇七	九、九三二	一〇、九八一	入超一、〇四九
五ヶ月合計	二二、八〇三	三四、二三一	同 一一、四二八	五七、六〇九	四二、〇六五	出超一五、五四四

昨年の年初五ヶ月は差引一千五百五十四萬四千磅の輸出超過なりしが本年の同期に於ては一千百四十二萬八千磅の輸入超過となりたり、爲替の低落當然と謂ふべし

●海運界の不振

△主因は船舶過剩

數日前公表せられしロイド登錄簿に由れば世界の商船は戰爭前に比し著るしく增加せり、開戰當時全世界の船舶は總計四千九百萬噸にして此內戰爭の爲め喪失せるもの一千五萬噸に達したり

然るに目下の總噸數は六千二百萬噸則ち戰前のそれに比し一千三百萬噸の增加なり

英國當今の所有船舶は一千九百萬噸、千九百十四年に比し四十萬噸の增加なるが、米國に至つては其所有目下一千二百萬噸、戰前よりは一千萬噸の增加なり

佛國亦著るしき增加を示し、戰前の百十二萬噸に對し今や三百萬噸の所有者となれり

次で、日本、伊太利、和蘭等順次最大船舶所有者なり

然れども此內には老朽船少からず此等は追々淘汰せらるべきに由り此の淘汰と相待つて海運界は自然調節せらるゝに至るべし

●牛疫未全滅

聖州の畜產界に大恐慌を與へたる牛疫は最早蔓延の氣支ひなきも尙は全滅に至らざるもの丶如く、白耳義政府亦當分伯國の肉類、皮類其他牧畜副產物の輸入を禁止する旨此程聖市駐在白耳義領事に通牒ありたりと

●爲替立直り

爲替の下落は最早やドン底に達したるが如く過日來立ち直りの形勢にて、二十七日聖市仲買集會所は倫敦一覽拂七片十六分の五を掲示したり

●ジユキア延長線

伯國有數の經濟學者にして聯邦下院議員たるシンシナト、ブラガ氏の計畫に係るサントス、アスンシオン鐵道に關してはパラグワイ國は勿論亞爾然丁國諸新聞も之を以て南米諸國の商業發達に貢獻するものとして大いに賞讃の辭を掲げ居る由なるが該線は現在のサントス、ジユキア線の延長にしてジユキアよりパラナ州首都クリチバ。ポンタグロサ。グワラプワバ。フオス、ド、イグワスー。ヴイラリカを經てパラグワイ國首府アスンシオンに達するものなり

●マットグロツソ鐵道

オスカル、モレイラ氏等の發企に係る『サンパウロ、マトグロソ』鐵道は技師バセラル氏主任となりて測量に從事中の處愈々近く工事に着手する事となりたる由なり

同線はノロエステ線『アグアス、クラ、ス』驛を起點とし『バウース』『サンタ、リタ、ド、アラグアヤ』等を經て同州首都『クヤバー』に終る約一千基米突の大鐵道なるが其通過する地帶は同州中最も肥沃なる土地なりとは同州探險者にして又土人擁護者の隨一として知られたるロンドン將軍の語る處なり

●米海運人を欠く

米國人が誇りとして大いに吹聽したるムンソン線の新造大船アメリカン、リジヨン號數日前紐育出帆リオに向つて初航海の途に上りし所ポンプに故障生じ西印度のベルムーダ島に碇泊を餘儀なくされ目下修繕中と二十五日電報ありたり

日露戰爭の時露國は『砲後の人』を欠き折角の大砲割合に役立ざりしが米國の海運も肝腎の人を欠く爲め運轉へマ多く、前月藤崎三郎助氏の乘つたヒユーロン號も紐育出帆船員無規律罷業の爲紐育に引返し尙西印度の碇泊に豫定外の時を費したる等散々のブマを演じ爲めにリオ入港二週間も後れたり

●獨逸の南米海運

△ハンブルグ、アメリカの再興

獨逸は南米の海運、商業を回復せんと非常なる努力を爲しつゝある所圖らずも海運事業に於て新勢力ヒユーゴ、スチンチスとハンブルグ、アメリカ會社間强烈なる競爭を惹起したり

其結果ハンブルグ、アメリカ會社の取締役たりしヒユーゴ、スチンチスは本年任期滿了の所最近同社株主總會に於て再選に至らず全く同社と關係を絕つに至りたり

ヒユーゴ、スチンチスはヒンデンブルグ、ルデンドルフ、チルピツ等の新造船を以て既に獨逸、南米間の海運を開きたるが、ハンブルグ、アメリカ會社亦來る九月を以て南米定期航路を再興せんと準備中なり、同社は過日英國に於て二萬一千噸のカポロニオ號を買取りたるが同船は當今獨逸の南米航路に於る最大船なりと

尙スチンチスの事業は全然獨逸人の手に由て遂行せらるゝものなれどハンブルグ、アメリカの方は資本を米國に仰ぎ獨、米人共同經營の組織なり

DR. LABIENO DA C. MACHADO
Rua B. de Itapetininga, 13A
S. Paulo

芋作地

サンパウロ市より遠からぬバルエリ驛附近に好適地あり良好の條件にて貸與す

詳細は左記に

長谷川庄太郎
矢崎節夫
Caixa Postal, 1114
São Paulo

土地を貸す

テイラ、ローシヤのカフエラを一アルケール一ケ年百五十ミルにて三年間貸與す、イビチンガ町より一里の處にあり、住宅附なり

左記へ御來談あれ

Clemente Botelho
Faz. Santo Antonio
Chave Vieira, L. Douradense.

野菜園

市外ボスケ、デ、サウーデの電車終點より十分間にして達する處の野菜園適地を初年は無料次年以後は協議の上相當の料金にて貸す

尙同條件にてヴイラ、レオポルヂナに在るピニエロ河沿岸三アルケールをも貸與す、照會は左記へ

Rua Quitanda, 17, sobrado.

日本人諸君に對しては特に懇切に一切の法律事務の御相談に應じます

辯護士　ジヨアキン、デルフイノ、リベーロ、ダ、ルース

事務所　總領事館同建物四階十四號室

Dr. J. Delfino Ribeiro da Luz
Largo da Sé No. 3, 3º. audar
Sala 14　S. Paulo

封筒及び名刺印刷

上等封筒百枚　六ミルレース　送料五百レース

同　百枚一組　六ミルレース　（發信用（日本へ）五十枚　返信用（日本より）五十枚）　送料五百レース

名刺百枚　六ミルレース以上　（和洋文両面刷）　送料五百レース

同　上　五ミルレース以上　（和洋片面刷）　送料五百レース

其他の印刷物に就ては御來談又は手紙にて御照會を願ひます

伯剌西爾時報社
營業部
Caixa Postal H, S. PAULO

◇廣告◇

左記當社貸付者の現住所御一報を得度候

山田佐平　菅沼末吉　五島菊市
箱崎庄右衛門　石河熊吉　井上浩平
河村末太郎　宮武勘六　竹田森次郎
中牟田榮太郎　野中重助　平楠太郎
木下辨吉　曾木盛一郎　外村愛助
大熊長次　石本兼光　戸田勘次郎

大正十年七月

海外興業株式會社伯國支店
Caixa Postal, 1082　S. Paulo

●伯剌西爾曠原の探險

米國 テヲドル、ルーズベルト著
日本 北島湖西子譯

第八章

疑の川（リオ、デ、ドユピター）（六）

第一日の野營地より移轉の距離僅かに一キロメートル半、此夜の野營地は川邊の綺麗なる砂地にして淺き灣をなせる所なり、水中に柱の如き三本の椰子立てり、天幕の周圍に數本の木あり、內三本はゴム樹なり、ケルミットは五六キロメートル川に沿ふて降り、ジヤクを携へて歸り來りて曰く、玆に又他の急流ありて、同じ困難を再演せざるべからずとの事なりき、アントニオは大なる猿を打てり、勞働非常に多大にして肉類を要する事從つて多大なるの際一同大いに喜べり、チエリー氏は『疑』に入りてより已に六十種を採集せるが、皆新種にして其內學術的に全く新しきものあるべし、一行はバカー、アゴチー、貘等を見出し、犬と共に追ひたるが遂に逸せり。

急流の一二點を除きては大カノアを輕裝したらんには通過し得べきも探險的遠征に如斯き事をなすは粗忽の至りにして、啻にカノアを失ふのみならず、其の內容を失ふ事は非常の不幸なり、余等のカノアは如斯き急流には其半數も安全を保證する事能はず。

第二日目にカノア及荷物等を急流直下まで運搬せり、先づリラー氏は路を開き丸太を供へ、ケルミットは滑車と轆轤とを以て離水揚陸せしめ、後一同協力して之れを惹けり、大佐は一名の部下を從へ距離を觀測し終りて、後は狩獵しながら川に沿ふて降れるが、何等の獲物なかりき、余亦川に沿ふて降れるが、同樣何の得る所なかりきアマゾン川畔の熱帶深林の急速旅行をなせる余等の如き者には、獵は至難なる一事にして只機會に投ずるのみなり。

翌日リラー、ケルミットの多大なる勞力を以て、カノア及荷物を川邊に沿ふて建てられたる小さき野營地まで運搬せり、バユバは周圍に繁茂せり、土人は其葉を利用し、屋根を葺けり、長さ一丈幅二尺半、森林を逍遙せるが只複雜なる樹木のみにして空虛寂寞。時折り木切鳥、蟻喰つぐみ、ウソ、蠅取等、吾國の春囀鳥チカーダス、ナトハッチス等が、北方の森を通過するが如く、瞬間に通過し去れり、川邊の樹や岩には美しき白百合の如き蘭の花咲き、ソブラリヤは甘き心地よき香を送り來る、荷物の內最も重きものは余の書物なるが、若しケルミットよりオクスフオルド出版の佛韻文を借る事なかりせば如何に退屈なりしか、余は此等の書物を顏蓋及籠手を裝ひつゝ、アマゾン深林の不詳の川邊に於て靜讀せるは此の行唯一の余の慰めなりき。

十日一行はカノアに乘込み、降る事僅かに一キロメール半、二個所の難所の爲めに終日を費せり、離所は何れも荷物は擔夫をして陸上を運び三艘のカノアには各二名の裸體漕夫をして漕ぎ降らしめ、他は繩を以て惹き下ろせり、一艘は浸水せるも安全に到着せり、一名のカマラダは急流に陷り顏に負傷せり、實にリラー氏とケルミット氏はカマラダと等しくよく働けり、ケルミットはカマラダの如き服裝を爲し、水中にて働き、捲くり上げたる四肢には何れも虫害を蒙り腫れ上れり、實に一行は皆多少共害蟻に患まされ、虻の類亦多くして蒼蠅く、白蟻は余のヘルミット及び上服に穴を穿てり、野營地點は出發點より百〇二キロメートル、高低の差百キロメートルなり。

●兒童問題の第一義

尾崎篤堂

野蠻國に問題てふ問題なし、世界の文化は其の進歩につれて幾多の活問題を提供せり、而して是に適當なる解答を與へずんば遂に世界史上の落伍者たらざるを得ざるに至る。

▲十九世紀の末葉より二十世紀に亘り各種の問題の勃發せるもの〻中、余の注意を喚起せるものは婦人問題と小兒問題なり、婦人問題は十九世紀に於て多少の光明を發揮したるも兒童問題は未だ僅に其の呱聲を擧げたるのみ。

▲由來我日本國民は『子煩惱國民』として子女の養育には注意を拂はざりしにあらざるも、而も其の子女に對する父母の態度と社會の小兒に對する觀念は甚だしく不健全にして多くは是を玩弄物視するの觀あり、蝶よ花よと育てらるゝてふ事は單に父母の寵愛を與ふる對象物として其の子女を取扱ひ子女に對する父母の觀念に於て徹底したる理解に乏しく、時には小兒に對して是を（餓鬼扱ひ）とするものさへなきにあらず。

▲兒童問題と謂ふ極めて廣濶にして漠たるの感あるも、兒童問題の中心は小兒の權利を主張し其權利を擁護せんことなり、彼等の生るゝや必然的なりしか將た又偶然的に世に生れたりしや、換言すれば生れん爲に生れしや或は生るべく餘儀なくせられたりしや、是は別個の問題として暫く其の責を父母に分たしむるとするも既に生れたるからには一個の人として之を取扱はざるべからず、兎にも角にも彼等の生れたるの運命は彼等が主張すべき權利の依りて生ずる所なり。

▲記せよ父母たるもの其の子女に對する責務と其の存在の權利とを、而して社會は彼等の權利を承認し且つ之れが擁護をなすの義務あることを若夫れ彼等は權利を尊重するに非ずんば兒童問題に關聯する總ての問題は是れ辰氣樓なり空中の樓閣なり、兒童の權利を尊重せずんば兒童問題は空論なり、痴人の夢を說くの類のみ、されば兒童問題の第一義は小兒の權利を尊重する是なり、是に於てか育兒問題あり衛生問題あり、兒童教育問題も起れば少年少女の勞働問題又起らざるを得ず、余は二十世紀に於ける諸問題中重く且つ大なるものは蓋し兒童問題ならんと信ず、否ず、況んや特殊の地位に在り、變態の境界にある在外日本人の兒童の將來に就ては吾人の慎重に研究を要すべきものあるに於てをや。

子牛飼養（上）

●注意を要する

專門の酪農家たると單に自家用として乳牛を飼養するとに拘らず仔牛の飼養法宜しきを得ると否とは經濟的に甚だ重大である酪農に從事して年々牛を繁殖して行く農家が仔牛の飼育法を知らず生れて間もなく死亡せしめたり又死なぬにしても不健全に育て上げたなら其損害は大きい殊に優良高價な仔牛であつたら尙更惜しいそれ故酪農に從事する人は必ず仔牛の育て方を心得て置くべきである親から離すのは何時が宜しいか又離して後の

▲飼養法　牛乳はどんな種類を幾何與へて宜しいか等硏究すべき問題範圍は可なりに廣い、經驗上仔牛が生れて四十八時間經つた頃親から離すが最も宜しい可愛そうだと思つて是よりも長い間親につけて置くと親の仔牛に對する愛着の念が强烈となり搾乳中神經質になり暴れ出す例が多い、仔牛を生れて四十八時頃に親から離したとしても勿論牛乳を與へなければならない初會の

▲人工補乳當時は仔牛は丈夫で元氣よく饑餓を感じた機會にやる其爲めに特に親から離してから十二時間位は何もやらずに置く、そうすると仔牛が勿論腹が空く、此機會を見て親から搾つた溫かな牛乳を清潔なバケツに入れ仔牛の前に置くと始めての間は仔牛はバケツの緣を舐つたりなどして居るが一度其中にある牛乳を味ふと餘計な手傳などはしなくとも獨りで飲み始める然し仔牛が待つて居つて自から

▲牛乳を飲む事が出來なかつたら外の方法で敎へなければならない其方法と云ふは仔牛の脊に跨り兩腿にて體を動かさぬやうに押へつけ左の指二三本を上下顎の間に挿み右の手にて頭を靜に押し下げバケツの牛乳の中に口を入れると仔牛は牛乳の味を占め指の乳房と間違へて牛乳を吸ふ是を幾回も繰り返しておる間に仔牛はバケツを見れば其中に牛乳があるものと知り獨りで飲むやうになる

鍛冶職開業廣告

私儀郷里にて鍛冶職營業大正二年渡伯後サントス港ドック會社工場に滿五ケ年勤續の處今般左記に獨立鍛冶職を開業誠實を旨とし農具其他一切の器具製作可仕候間何卒御用命の程願上候

サントス港　平田初太郎
H. Hirata
Rua Carvalho Mendonça, 425
SANTOS

廣告

私儀今般左記の場所に移轉旅館及大工指物業營業開始致候間倍舊の御引立奉希候

アラ、クワラ線カタンヅーバ市ルア、マラニオン角（元郵便局跡）
旅館兼大工指物業
中國旅館
野島兵太郎
郵函九番

廣島屋旅館

聖市コンデ街五十三
電話セントラル五八一九
Rua Conde de Sarzedas, 53
Telephone Contral, 5819

送金者注意

購讀料其他を御送金下さる時は成るべく郵便爲替（Vale Postal）か或は現金封入郵便（Registro com valor）にして鐵道便送金をなさらぬ樣に願ひます、鐵道便送金にしますと大抵通知書が一日遲れになつて倉敷料（Armazenagem）を取られますから

又現金封入郵便の場合は必ず手紙を同封するか又は封筒に橫文字或は日本文字で住所姓名を記入して下さい

料金送附其他本社への手紙の宛名は決して個人宛にしないで左の通り御記入を願ひます

NOTICIAS DO BRAZIL
Caixa Postal, H
S. PAULO
伯剌西爾時報社

Empreza de Terra e Colonização
Costina
Dr. Labieno da Costa Machado
Rua B. Itapetininga, 13-A, S. Paulo

ガルサ殖民地
ノロエステ線プレジデンテアルベス驛
ガルサ市街地
を賣り始めましたから企望者は至急御申込ありたし
ピラポジニヨ殖民地
ソロカバナ線サントアナシタシオ驛
明細書御希望の方は御通知次第送呈します

代理人　コスチナ土地殖民會社　矢崎節夫
Caixa Postal, 296 S. Paulo

FUJISAKI & COMP.

日本品各種

藤崎商會

東京本店　赤坂區溜池町卅三
本店　リオ、デ、ジヤネイロ
支店　ペルナンブーコ
サン、パウロ支店
Rua S. Bento No. 68-A
Tel. Cent. 2788—Caixa, 344
S. PAULO

聖波羅土地材木殖民會社

◆當社は水質良好、氣候溫和にして珈琲其の他の全作物に適する肥沃なる絕好殖民地ビリグイ。エイトール、レグルーの土地を廉價且つ拂込方法を容易にして賣却す
◆當社は既に千八百家族の各國人を有し、其中四百家族の日本人植民し且道路四通八達し兒童教育機關及日本醫院の設備等あり
◆尙詳細は左記宛御照會ありたし

ビリグヒ代理人　宮崎八郎
Est. Biriguy　L. NOROESTE

日本貿易株式會社

リオ支店
Rua Candelaria, 90
Caixa Postal, 1246
Rio de Janeiro

聖市出張所
Rua Quintino Bocayuva, 80
Caixa, 1714 Tel. Cent. 3449
São Paulo

△當面の問題▽

夜逃は不可

日本人米作地からの情報に依れば、我同胞にして或る方面に米作する者の殆ど全部が他に向つて移動したと云ふことである、伯國も世界的不景氣の餘波を受け、農産物の價格底落の中にも別けて米價暴落は、固々資金に餘裕なき米作者に一大恐慌を來し、比較的安全と稱せらる珈琲園へ指しての退却は已むなしとするも、其中には債權者や地主に斷りなく夜逃せし者の有るは遺憾である。

斷じて愼め

尤も夜逃と云つても其內幕を檢ぶれば、其處に色々の事情が伏在して、三十六計を定め込まざれば現在の窮地を脫し得なかつたからでもあらうが、夫れにしても、或る場所では自分の恩人とも云ふべき仲介者日本人の目を掠めてまで夜逃せし者の有るは、甚だ宜からざることである、之と云ふも日本人は兎角事を內密に行りたがる處から起る結果であらうが之は斷じて愼むべきことである。

慘酷な伊人

サンエスチボン耕地に於て、沖繩縣人長峰蒲戶なる青年が、伊太利人某の爲めに銃殺された一椿事が出來した、而して其原因を聞けば農産物取引上から爭論を惹起し、氣の早い伊人が携ふる獵銃を以て長峰を射て死に至らしめ、傍觀の上原カメ女をも射擊して十九箇の散彈を內股に殘すの慘劇を演じたと云ふことで、即座就縛投獄された加害者は重き法律を以て處刑されると云ふことである。

相手の心理

茲に於て同胞の注意せざる可からざることは相手方の心理狀態である、吾々は外國に於て外國人を相手に仕事を爲す場合は、常に相手方の心理を洞察して、一步彼等の上に立つを必要とするが、就中伊國人の如く無教育にして慘酷性を帶ぶる者には、成るべく當方から避けて彼等と爭はぬが上分別である、此の度の出來事實に長峰氏には同情に堪へざるも、之に由て學ぶを得ば氏も亦冥すべし

農界資料

●農家の副業（十三）

◇乾　薑

薑の塊根は芳香と一種爽快なる辛味を有して、其生の儘、調味料として廣く用ゐらるることは、誰も知らるゝ通りである。然るに之を乾燥したる乾薑も亦廣き用途を有して其製造は副業として重要なる位置を有するものである。

乾薑の原料としては成るべく水分が少くて辛味の強い者がよいのでそれには小薑、金時、茅根などいふ品種を作るが良い。

すべて乾燥中注意すべきことは、薑が表裏不同に乾燥することのないやうに、屢々手返しをなし、日光に曝す間はたえずひつくり返す樣にすることが必要である。特に雨天にて納屋などに取り入れて置く日などは注意して薄く擴げ、晝夜とも熊手の類にてかきまはし決して醱酵することのなき樣にするのである。

乾薑は歐米にてはソースの原料となし菓子に入れカレーに用うるなど極めて用途の多いもので從つて其消費高も多く、支那、印度及び我が國より盛んに輸出して居るものであるから、薑の栽培者は生薑として市場に出す外、此乾薑を製して賣り出すことは、副業として極めて重要なるものである。

◇藥用としての薑

野菜としての薑は何も說明せずとも、世に其食用法は普及して居る。其の佳好の香氣と辛味とは食物の調味料として廣く用ゐられて居る。特に肉類の臭氣を消すために、牛豚の肉を食する際などは決して缺くべからざるものである。然し調味料としては何も此處に說明する必要はない先づ藥用としての効能をいふと、次の通りである。

根莖は特別の香氣と辛味とあり、揮發油百分の二及び粉脂（ギングエール）、澱粉等を含む、しやうがの芳香苛烈の味のあるのは全く『ギングエール』のためである。

しやうがは芳香性健胃藥としてこれのみを用うることもない譯ではないが又之を原料として色々の製藥もある。左に示すものがそれである。

しやうが丁幾は中剉截しやうが一分、稀酒精五分の割合にて製した帶黃褐色の丁幾で健胃劑となり又風藥として効がある。

しやうが舍利別はしやうが丁幾十分、單舍利別九十分を混じて作り、少しく濁りを帶びた液である、これも風藥となり健胃劑として効がある。

芳香散と稱するものは持皮中末、小豆蔻中末、しやうが中末の三種を等分に混合して製したもので、風藥健胃劑の外に防臭、矯味藥として他の藥に混じたり丸藥の衣などにする

●千の米より子が寶（中）

（ミナス米作者演說會にて）

金持子茂兵衛

私も成程米作りは惡いものではない始め方やり方一つでは、その頃の私の一家の收入の二倍や三倍はあるものだと云ふ見當はつきました。それで私も米作りに入る二年前頃から、種々の事について準備に取掛つたのであります。所がその時分既に我も我もと米作りを始めた連中の中で、少し小首を傾げかけたの、或は折角五六年間に貯めた小金もフイにして猶その上に有難からぬお荷物が殖えたりして、中には本の木阿彌で退却し又ぞろ元の時のコーヒ園に納まる者も出來た樣な有樣でありました。

世の中は何が爲になるか分らぬもので、私がそれ等の事を米作入りの研究に有力な材料だと云へば、人のべそをかくのを喜ぶ樣に當りますが、決して然う云ふ意味でなしに詰り米作の事業上の方針を立てるに一つの良い當てを得た樣な譯であります。

で愈々それから二年後即ち一昨年當地に入つて來ました當時、私の手元には必要の爲め國元へ送金した殘りで、總て當地へ移るについての旅費などを除き、現金六コントス其他雞二三十羽、牛馬二三頭宛及び十頭ほどの豚と若干のトシーニョがあり、皆當地へ持つて參つたのであります

先づ私の第一の方針としまして、米は元より出來るだけ多くやるが、其他きびなども自家用養豚に事かゝぬやう作る事、豆や野菜もその通りにやると云ふ事にしました。これはつまり米の値段だつて誰も燒ゴテで印を捺した樣に定めたものでなし、今までの二十ミルが十五ミル或は十ミルに下らんとも限らぬ、この場合に處するには總て自家用のもので、百姓の手で出來るものなら何でも作り槍が降らうが火が降らうが、食ふだけは大丈夫と云ふ事にしました。

次に第二の方針としまして米作りである以上、米は出來るだけ多くやるが、カマラーダは決して一人たりとも使用しない、即ち持つて居る六コントスに傷のつくのは、その年の米が不幸にして一俵も穫れない時とこう心に定めてかゝつたので御座います。

一體日本人ばかりでもありますまいが、一二年米なら米が有利だと見たら、まるで前後不覺になつて、さアやり玉へさア植え玉へで、今に足元に喰付いて來るパトロンや商人から鬼の首でも取つた樣な調子で、金を借り出しては、やれカマラーダ、さアカマラーダと鳴物入りでカマラーダ探しは、餘所の目からはカマラーダを使ふために米作をするやうで、果してその目的が奈邊にあるかを伺ひ兼ねる有樣であります。斯うなるとカマラーダこそ天下第一の果報者で、世に云ふ娘一人に婿八人、お前でなうては夜も日も明けんと云ふ調子、あちらからは袖を引かれ、こちらからは裾をひかれて、引かれる度に四ミルは五ミルに、五ミルは五ミル五百となつて、口でこそ使ふ人がパトロンで、使はれる者がカマラーダでありますが、斯うなるとどちらが主人だか雇人だか分りません。尤もこれが豫想通り米の値も高く行けば好いが、それこそ使ふ方が正眞のパトロンにもなれませうが、若しも本年の米の樣に豫想が外れる段となつたら、それこそ大變でありまして、元々資力あつてやつたものならいざ知らず、無理具面の面々でありますから、具面を付けて與れた商人耕主は如何樣な手段を講じても、その金の回收を迫るのであります、耕主商人はこゝに到つて恐ろしい正體を現はして來ます事は、本年所々方々で現實となつて來て居るのであります。

●眞劍になれ

小松田生

▲先週の米人對ミカド野球第二回戰は第一回にミカドが勝つて居るので結果如何と一般に可なりの興味を以て迎へられたが二十幾つに三と云ふやうなミカド方ベタ負けのお話しにならぬ段違ひ仕合に終つた

▲敗因は、などゝ事々しく詮議立する程がものはない畢竟先方が強かつたから勝ち、弱かつたから當方が負けたのだと云つて置かう、が負けるにも程こそあれ、あんな負け方をするとは恥辱も甚だしい。

▲今度の仕合に負けた事を國恥だの同胞の體面に關するなどゝ野暮は申さぬ、けれど彼の樣な慘めな戰敗は之をミカド運動倶樂部の一大恥辱と心得必ずその雪辱を期せねばならぬ

▲大體ミカド部員の野球に對する熱が足りない從つて練習に眞劍でない御大笹原の狩出しでやつと顏を出す樣では駄目だ、もつと眞劍に練習を積み次回はウンとカツ飛ばせ

御菓子
まんぢう、やうかん
せんべい、その他
相變らず
御引立を願ひます
村上銀市
Rua C. Sarzedas, 71

左記へ移轉仕候間倍舊の御愛顧希上候
佐々木洋服店
コンデ、サルゼーダス街五一番

旅館
東京館
エスタソン
ソロカバナ前通り
電話シダーデ一四七六
Rua Mauá, 199
S. Paulo

ルアコンデ四九番　電話セントラル三八三六番
◉日本品各種、卸、小賣
◉神田醬油、卸、小賣
瀨木商店
Y. SEGUI　Caixa Postal, 1771　S. PAULO

田口洋服店
ルア、コンデ、デ、サルゼーダス、七三

Montenegro Yahrmann & Co. Ltd.
Escriptorio
Rua Cidade de Toledo, 12
Caixa Postal, 220
Machina e Armazem
Rua General Camara, 499
SANTOS

精米所
今般機械全部の修理を施し特に廻轉臼は米の粉碎を防ぐため金剛砂層を取換へたれば一層の好果あるべし
日本人諸君の爲に日本人精米係りを二人常雇しあれば便利此上なし
照會其他に關しては
與名嶺仁五郎
Jingoro Yonamine
宛御通信ありたし

汽船代理店
弊社は北米大汽船會社『綠星線』の代理店にして同社は紐育及桑港を基點とし各國に定期航海船あり
紐育（基點）｛伊太利、佛蘭西、英國、獨逸、南米
桑港（基點）｛布哇、橫濱、神戶、上海、香港、馬尼利、新嘉坡

◆日本品各種
◆種子物、書籍
◆仕立洋服、刃物
◆反物、雜貨類
◆神田醬油
卸小賣
◎諸品の御注文なら安心して御取引の出來る
中矢商店
Rua Conde de Sarzedas, 65
S. PAULO

港旅館
赤堀吟造
サントス港ベー街二七四番
Rua B, No. 274 SANTOS

ペリイと私（上）

TM生

お粗末な瓦屋根の低い家、家とは云ふものゝ屋根も壁も頽れかゝつたほんの雨風を凌ぐだけの破屋である

私がパルメラス耕地に居る頃でした。コロニア中でも最も慘めなその家には、働きのないブラジル人の一家が、傍から見ても、何が望みで生きてるのだらうかと思はれる程力も彩もない哀れな生活を立てゝ居た。

その家にペリイと云ふ一疋の飼犬が居た。ちようど世界風邪の流行盛りで、その一家は子供一人とペリイを殘して總て死絶えた、子供は他の耕地に居る身內に引取られて行つたが、捨てられたペリイは野良犬となつたのである。

犬でさへ住む家がなく喰べさせて呉れる人がなくて、不安な生を送つて居ると、自ら苦勞の相が顏に現れるものだ、或日私が町へ出ての歸り途、見違へる程衰へたペリイに會つた。不憫に思つて幾片かのパンを與ると、ペリイはもう大嬉びで、ろく〳〵嚙みもしないで丸呑みにして了つた。

『オ、、ペリイや、可愛相に……』

私はそのいぢらしさに思はず斯う云つて、ペリイの頭を撫でゝやつた。そして突嗟に此の可愛相な犬を自分で飼ふ事にしようと決心し繩で縛つて耕地へ連れて來た。

私の家へ來てからのペリイは三度三度の食事をあてがはれ、元の幸福に歸つた筈であつた。けれどペリイはもう昔のペリイではなかつた。何時も人家の隙を覗つては喰べものを盜む、人を見ればけしきばむ、ペリイの三角形の眼には常に異樣な凄い光りがあり、その顏全體に一種陰慘な氣が籠つて居た、雨降る夜等も外で寢ると見え、白い毛は泥に塗れて所々固くなつて居る朝もあつた。ペリイの身の丈は大きくなかつた。

右の樣な譯であるから、耕地の外人はペリイを非常に惡んで居た、が可愛がつてやる私の前には耳を垂れ尾を振つて四つ這になり、怪しく光る眼にも情の火が燃えて居た。然し私の目にもペリイには無邪氣で愛らしい處は少しも無かつた。何處かに猛惡な相があつて、ひねくれて、いつも人の顏色ばかり惡ごすく覗つて居るやうに見えた。他の外人が手を出し、撫で樣とすると、定つて齒を剝出し嚇かしたもので、ペリイが外人に憎まれるに無理は無かつたのである。

私には何う云ふものか、この耕地中の惡まれもの、ペリイが不憫でならず、憎まれ虐げられて居る事實を見れば見る程不憫の度は增すばかりであつた。

▲お伽噺▼

鳩のお使ひ（中）

今まで大きなお家から、外にあまり出なかつたマリイは、野山にこんなにもいゝ匂の花が咲き亂れて居る事は知らなかつたのです。バヾヤはマリイのお家が大きくて立派なのに始めは少し眼を廻しましたが、マリイを見ると嬉しさに、何もすつかり忘れ、走りよつてキッスして、花で枕元を飾りました。バヾヤはそれから毎日、色んな珍らしい花束を持つて、お見舞に來ました。そしてマリイの病氣も、軈てすつかりなほりました。

それでマリイは或日バヾヤのお家へ遊びに行きました。バヾヤのお家は、町からかなり遠い山の中の、土人の部落の淋しい一軒家でしたが、その周圍には、青々と樹が茂つて、眼もさめるばかり美しい花が咲いて小鳥たちは、その中を唄ひながら、枝から枝を舞つてゐます。マリイはこんな美しい所を見たことがないので、すつかり喜んで、バヾヤに花を集めて貰ひ、人形を作る事を敎つたり、それからおまゝごとにバヾヤの父樣の植たバナ、などを取つて食べました。

するとそれはどれも水々しく新しくて、マリイの食堂で食べるより、ずつと美味しいので、又びつくりしました。それからマリイは軒端に巣を作つてる鳩もすつかり好きになりました。その鳩はバヾヤとは大の仲よしで、バヾヤの云ふ事は何でもよく聞く可愛い鳩でした。

それからはマリイはよくバヾヤのお家へ遊びに行きました。

時報歌壇

◇なき御魂へ

（幸さんの愛子逝けるローザ孃へ、この拙なき歌をさゝぐ）

リベイラ河　白萩

さびしき冬にたへかねて
やがて咲くべき春の日を
夢とながめて散りはてし
かたき蕾のかなしさよ

愛の女神の佐保姫の
やさしき袖も冬の日の
すさぶあらしに吹かれては
ほごこすすべもなかりしか

流れてゆきぬ其の母の
あつき情も冬の日の
かたき氷をとかすべき
力のなきをいかにせん

あつき泪のわきいでつ
頰をつたうてなき君の
顏にそゝげどいかにせん
歸らぬ君をいかにせん

生れいでゝは母とよび
子とよばれては父とよび
深き緣のあるものを
孤りゆくこそかなしけれ

すでに散りにし君が身は
いかにことばをつくすとも
散らぬむかしに立かへる
望みなきこそかなしけれ

一度かれし其の草は
いかに泪をそゝぐとも
もとの若葉にたちかへり
花咲ざるをいかにせん

朝にうまれて夕にゆく
蜩ならぬ人の身の
つぼみのまゝに散り果てし
君が運命ぞかなしけれ

流れてやまぬ川水も
しばしゆくてをとゞむらん
空ゆく雲もあしとゞめて
君が柩をかなしまん

朝の空にたなびける
雲の色にもうれひあり
草葉にそゝぐ秋雨も
君にたむけの泪なり

君にさゝぐる花束を
したへる蝶もかなしまん
森吹く風も行く水も
皆かなしみの音をなかん

げにちり果つる秋一葉
吹き散る如くちり果し
君が命を春の夜の
夢と見るこそかなしけれ

いかに永くも夢はまた
さむべき時のあるものを
行てかへらぬ川水の
君の身こそはかなしけれ

ゆきて歸らぬ冥府のよに
君よいねかし安かに
ゆめなおそれぞ風あれて
雲のこの世にさわぐとも

君がねむれるおくつきに
花咲きちりてつもるとも
ほたるびいかに亂るとも
君よ眠れよ安らかに

まだ新しき土の香の
おくつき近くさく花に
誰か泪をそゝぎてし
げに多かりしけさの露

小說

義民甚兵衛（六）

菊地寛

松野八太夫の倒れた場所が、弦打村の地域であるのを口實として、弦打村全體に加害の責任を負はしたのである。それは暴斷であつたが、斯うした暴斷はその時代に有り觸れた事だつた。

庄屋及び名主は、下手人の判明するまで手錠を打たれた。村の老人達は鳩つて議を凝らした。が彼等に何の名案もなかつた。到頭誰かゞ一策を考へ出した。

それは一揆に方人した人々で、籤を引く事だつた。そしてそれに當つたものが諸人の爲だと諦めて、名乘つて出ると云ふのだつた。

皆がそれを名案だと贊成した。が實行に移る段になると、皆が二の足を踏んだ。籤に當つたと云ふだけで恐ろしい罪を引き受けることが、餘りに馬鹿〳〵しかつた。

評議が何の解決も付かずに四五日も續いた、上役人の督促は嚴しかつた。若し下手人が出ない場合には、庄屋名主一同屹度曲事たるべしと脅かされた。

猶豫の日限が切れると云ふ夜であつた。村の人々は最後の評議を開いた。是が非でも下手人を作らうと云ふのであつた。

『石一つ投げた人はないか、松野樣に石一つ投げた人はないか、若しあれば其の石が當つたと勘辨して、名乘つて出て呉れるのぢや、村一統、いゝや百八十九ヶ村の人々の身代りになる事ぢや、名乘つて出たからと云つて見殺しにはせぬぞ、村一統で愁訴して命丈けは助けるぞ』

手錠を掛けられた大庄屋は、かう云つて一座を見廻した。が一座はしんとしてしまつて、咳拂ひ一つするものがなかつた。

『ないか、ないか。誰もないか。村一統の難儀を救ふ者は誰もないか』

大庄屋の聲は悲痛を極めた。

その時だつた。大廣間の緣側をコツ〳〵と這上るものがあつた。

◇野に立ちて

メイヤ、レグア　丘の人

惱ましき思ひに沈みうら若き身に
ふさはざる日を送る哉。
黄昏れの雲の流れを眺めつゝ君を
思はぬ日とてなかりき。
空虛なる胸の底よりひゞき來る微
な音に涙湧き出る。
君を見む心抑へて綿摘みぬ今日
のわが身は心悲しき。
寂さの胸なか〳〵にはれやらぬ夕
靄閉す野にたゝづめば。
夕ざれの野にたゝずめば故里の晩
秋にもにたる靜けさを知る。

CASA DO JAPÃO
Grande Armazem de Seccos e Molhados
Vendas por atacado e a varejo

◆食料品各種卸小賣◆

內國及外國酒一切製造元より直輸入致候故安價に御需に應じ申候
農產物一切高價に買受申候
店主は日本語を話し候故日本人諸君には御便利に候

サントス市
ナヂーブ
マスタビ　兄弟商會
NAGIB MASTABI & IRMÃO
Rua São Leopoldo, 106, SANTOS
Tel. Central, 1671

吳服物　大和屋
雜貨類
農產物
賣買業
柳兄弟商店
Est. Heitor Legrú　L. Noroeste

中山旅館
中山忠太郎
ルア、コンデ、サルゼーダス六九番
電話セントラール四五五九番
Rua Conde de Sarzedas, 69
Tel, Central, 4559 S.Paulo

家屋賣却

一、ビリグイ町の中央日本人殖民地の通路にして町內目拔の處にあり
二、新築家屋にして商業向き大室一小室二、寢室二、臺所あり、家の兩側に小菜園あり
右家屋所有主歐羅巴へ歸國のため至急賣却し度に付御希望の方は下記へ御來談又は御照會ありたし

宮崎八郎
Caixa Postal, 13, Est. Biriguy
L. Noroeste

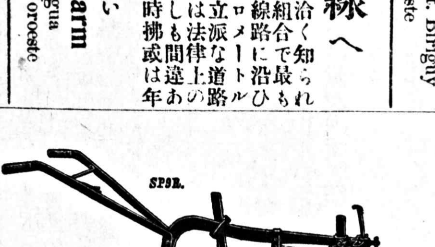
獨逸製幷米國製アラード及屬附品、犂、製粉機、穀皮離機脫、其他一切の農具幷石油發動機、牛馬牽引發動機等安價にて堅牢なる品多量到着致候間御用命伏して希上候
尙詳細は左記へ御照會被下度日本文ならば時報社宛に願上候

來れ北西線へ

當地方の土地豐饒な事は洽く知られて居ます、本社は英人の組合で最も堅實なものです、土地は線路に沿ひ驛から四キロ乃至十五キロメートルの間に在り、各地區には立派な道路が附いて地劵は確實分割は法律上の手續を經て行つたので少しも間違ありません、地代拂込は一時拂弍は年賦拂何れでも好いです
詳細は左記へ御照會下さい

Eugenio F. Harm
Est. Aracangua
L. Noroeste

綺麗で、迅速で、丁寧で有名な
石村洋服洗濯所
電話セントラル參貳參四
Rua dos Lavapés No. 236



聖市キタンダ街十番
ブロンベルグ商會
BROMBERG & CIA.
Rua Quitanda No. 10
Caixa Postal, 756,　S. PAULO

日本近信

●軍備整理と豫算編成

◇海軍費は八八艦隊外を删減整理◇

—陸軍服役年限を一ヶ年に短縮—

政友會の豫算編成に關する特別委員會は主として陸海軍費整理節約に關する調査を目的とするものにして過般來田邊委員長の外中村、津野田、櫻内四氏の小委員に於て之が調査綱目につき頻りに研究を重ねつゝあり略大體方針の決定を見たるを以て近く陸海軍當局と會見して意見の交換をなし更に

▲具體的の調査を進むる筈なり右調査方針の内容は未だ秘密に附せられ居るも先づ海軍に於ては大正十六年度迄八八艦隊を完成する所謂基本計畫をば變更せざることゝし其範圍内に於て現在の制度組織に於て整理節約の餘地なきや譬へば豫備艦制度の擴張廢艦處分の實施、艦隊の併合人員の淘汰、要港の縮小、服役年限の短縮、工廠の整理若しくは

▲水陸設備の繰延等により幾何の經費を節約し得るやを調査し更に根本問題としては八八艦隊計畫が我國力に比し果して過大ならざるや又假令過大ならずとするも四圍の狀勢に照し既定年度迄是非共之を完成せざるべからざる必要ありや等徹底的の調査研究を行はんとするものゝ如し又陸軍に關しては豫備少將たる津野田是重氏が主任となり

▲專門的見地より各般に亘る整理の方法を立案しつゝあるがその最も主眼とする處は服役年限を大體一個年に短縮すると共に現在の常備兵員の約五分の一を減少せんとするものにて之に對しては陸相との間に既に諒解を得山縣元帥も國民皆兵の趣旨により敢て異議を唱へざるべしと傳へらる

●寶塚郵便局長が

◇印紙二百三十萬圓横領

最近の日本は疑獄事件の連發で今度は遞信省へ飛火し由々しい罪が發覺した

▲主犯は　兵庫縣寶塚郵便局長津下精一で神戸郵便局の書記三名及び須磨蘆屋兩局の局長外二名と共謀して收入印紙二百三十萬圓を横領した事が遞信省檢査官に依つて發見され津下は東京府下田端の自宅で捕縛され

▲其他の　者共も追々と收監された當時新聞は記事掲載を禁じられて居た處愈々解禁され早速事件を發表したので又少し世間を騷がした犯人津下は元來交際上手で諸方面に關係を有して居る者だが投機に失敗した事が今度の犯罪に彼を驅つたので

▲諸方面　から借りた金は六十萬圓に上り居り其等債權者の主なる者には中央生命保險會社專務取締役田中伊作、九鬼隆一男、岡山縣知事香川輝、戸水寛人、長谷場敦、澤來太郎等實業界政治界の人物が多く津下の

▲保證人　たる寶塚の富豪平塚氏所有の電氣軌道敷地五十四萬坪價格五百二十餘萬圓の物は取敢へず遞信省に差押へされたが、滿鐵疑獄と共に政友會の地方政治腐敗の一例として内閣攻撃の聲が益々高まりつゝある

東京電報、桑港通信　六月二十一日

◇朝鮮王位復活運動

朝鮮方面よりの消息によれば日本の有力者の一部は朝鮮に於ける獨立運動を沮止すべき一手段として朝鮮王位を回復し朝鮮に自治制度を布くとの案に贊成しつゝあり京城に於ける親日朝鮮人は右の案に贊成し獨立運動朝鮮人は之れに反對せり

◇大阪同盟罷業續出

大阪藤永田職工の同盟罷業は職工警官の衝突にて大騷動ありしが結局妥協解決す尼ヶ崎なる住友電線工場の罷業は繼續中尙住友鑄網所の交渉は不調に終り既に四日間罷業せり

◇墨國原油多量購入

淺野物產會社は墨國より原油二萬三千噸を購入せり輸送汽船直ちに廻航すべく七月中に第一船横須賀に積戾るべし

◇有賀長雄博士逝去

日清日露二大戰役に際し國際公法學者として世界の學界より敬意を表せられたる法學博士有賀長雄氏は十七日東京に於て逝去せり

有賀博士は有賀長隣氏の長男にして萬延元年大阪に生れ明治十五年東京大學哲學科を卒へ元老院書記官、内閣總理大臣書記官を歷任し曩に支那政府法律顧問となり故袁世凱大總統の帝政運動に關聯して失脚したるが國際公法並に史學の泰斗として令名ありき

●各地に大洪水

◇九州最も激甚

既報の如く恐るべき洪水日本の諸地方を掃蕩しつゝあり二十一日迄に全國の溺死者數二百に達したり大分縣日田郡に於て數ヶ村落水平線以下十五呎に浸れり浸水せる村落數二十三に達せり浸水村民の一部は小舟にて他に避難し一部分は樹上にて救助を求め一部は家屋の屋根に一時避難し戰々兢々たる有樣なり

▲今回の洪水にて最も損害を受けたるは九州なり九州にて押流されたる家屋の數六百に達し溺死者の數少くとも百八十に達し九州の洪水は急激なりしを以て多數の人々辛ふじて避難せり九州諸地方の橋梁破壞され押流されたり福岡附近の損害殊に大なりと

●鮮人大玄能を揮ひ

十三人を斬る

即死七名重輕傷六名

六月二日午前零時半頃東京府東大久保八一市電氣局新宿車庫運轉手遠藤五百次郎方同居朝鮮人新宿車庫運轉手李判能（二六）が突然大玄能を揮つて五百次郎（三六）の頭部を叩き割つて即死せしめ次いで同人の妻ふく（二八）長男福美（九つ）を慘殺し次男庄次（六つ）に瀕死の重傷を負はせ狼狽せる自分の女房金蘭榮（二七）にも重傷を負はせ泣き叫ぶ我子福（五つ）憲（三つ）の二兒には眼もくれず血染の玄能を携へた儘戸外へ飛出し同家より二町ばかり離れた同町一五〇今鉾完一方に赴き就眠せる同家を叩き起して屋内に飛込むや否や完一（三六）の眉間を目蒐けて玄能を打卸し一撃の下に即死せしめ次で六疊の間に寢て居た完一の妻こと（三七）長男武（一〇）次男重男（六つ）三男義男（三つ）の各頭部を滅茶々々に叩き割つて再び戸外へ飛び出し同町二百五十四番地先で折柄通行中の同町九十三大工職平山半吉（四二）の前頭部を毆り付け更に通行人なる西大久保四百六十二會社員加藤榮一（五二）同町藥種商森仙藏（五八）の面部頭部等に重傷を負はせて逃走し牛込若松町派出所前に差蒐りし所を詰合の巡査に誰何せられ格鬪中三名の應援巡査駈付け漸く逮捕し早稻田署へ引致した

▲事の起は手拭一筋

加害者鮮人李判能は慶尙北道漆谷面の生れで大正四年上京し昨年六月中前記被害者の一人なる新宿車庫詰の運轉手今鉾の世話で東京東大久保八十一の遠藤方に同居するに至つたのである、去月二十九日遠藤の使つてゐる手拭が一筋紛失したことから李と遠藤と口論し李は腹立紛れに遠藤を毆打し治療一週間を要する傷を負はせたので遠藤は承知せず所轄淀橋署に告訴したが前記今鉾が仲裁に入つて和解し一日夜は仲直り酒を飲みながら話し居る中又復口論を始め今鉾も日本人だから仲裁しても遠藤の肩のみ持つて怪しからぬと憤慨し精神に異狀を來したものか突然玄能を揮つて右の如き慘事を仕出かすに至つたものである、被害者十三名の内遠藤夫妻、長男福美、今鉾夫妻、次男重男三男義男の七名は即死し他は悉く附近の博濟病院に收容手當を施したが金蘭榮遠藤の次男庄次今鉾の長男武は瀕死の狀態で他は比較的輕傷である

●臺灣思想界惡化

◇議會開設不採擇にて

臺灣議會開設の請願不採擇となりたるより臺灣人の思想頓に惡化し東京留學の青年子弟と氣脈を通じ雜誌を發行し不穩の記事を掲載しつゝあり若し此儘に看過せんか朝鮮に於けるが如き事態を惹起するやも測られざれば之れが取締を爲す必要あり過般

▲臺灣總督府警務部長の上京を機とし拓殖局に於て協議する處ありたるが在京臺灣人の取締に對しては警視廳と聯絡を執りて適當の措置を講じてゐる臺灣に於ては不穩記事の掲載を取締ると共に通俗講話の如きものを開催し殖民政策を鮮明にし所謂内地延長主義を說きて思想の善導に努むる方針であると

●重要書類を盜んだ

仙臺の露國藝者

◇秘密裡に取調べ中

西伯利亞チタ生れアンナ、パリシナ（二三）は先年露國歌劇團の一行に加はつて日本に渡り各地を巡業後大阪で解散し同女は其後藝者となり東京横濱等を漂泊して居たが四月十七日から仙臺市へ來て南町通り料理店陸奥の園の藝者となつて居たが五月二十九日夜第二師團の樞要な位置に在つて近く某方面に出動すべき某將校が同料理店で同女を招いて遊興した際同女は將校の隙を窺ひ鞄の中から重要書類を竊取したのを女中に發見され謝罪して其場は納まつたが遂に其筋の探知する處となり目下秘密裡に取調中である同女は常に露本國過激派と氣脈を通じて居たものと傳へられる

四方山話

▲此程の或る英字新聞に近代文明の脅威から脱れんとする一團の人々が英國から南洋の一孤島マーキサスに移住せんと布哇に立寄つた▲一行の團長はローツ、デーシャーと云ひ其夫婦を始め五十五歳を最高に二歳を最幼者として一行十三人▲熱帶の一孤島に世界大戰の重稅より脫して自然に復れる單純な生活を營まうと云ふのである▲一行は食糧や器具も持たず只赤手に依賴して必要品は凡て南洋で得られると云ふ意氣込で國を出た之れは少からず英人の一部に興味を惹起して居ると

農產物委托販賣

◆農產物を聖市に賣らんとする人の爲めに◆
◆農具食料品其の他の日用品を聖市に於て買はんとする人の爲めに◆
◆新古袋を安價に仕入れんとする人の爲に右手數料を以て其の便宜を取り計ふべし◆
◆砂糖及びピンガを製る人の爲めに比較的安價に仕上る機械は當商會にて取扱ふ◆

委細の照會は左記まで
聖市ルアボニタ一一　郵函一八五〇
上地旅館内
東京物產商會

御待兼の
葡和辭典

到着しました、今度は紙價騰貴と伯貨下落の關係で、左の價格で發賣する事にしましたから、品切にならぬ中早く御求め下さい。

一册實價十二ミルレース
外ニ送料（郵便鐵道共）一ミルレース

御送金は必ずコンバロールか郵便爲替で、宛名は左の通り願ひます。

NOTICIAS DO BRAZIL
CAIXA POSTAL, H
S. PAULO

伯國醬油製造界元祖
神
印最上醬油
サントス港
釀造元　神田榮太郎
Caixa Postal, 282
SANTOS

●ブラジル移民に對する
船賃減額と海興の補助
＝七月以降二千人丈は自己支出三十圓で濟む＝

伯國の富源開發と珈琲園維持とに勞力を要するの大なることは殆ど毎號報道に怠らざる處であるが、最近其筋より得たる統計に依れば昨年即ち千九百二十年度の『サントス』港上陸外國移民數は

葡萄牙人	一一、八〇〇人
西班牙人	七、二四三人
伊太利人	五、四七六人
土耳古人	一、七一三人
獨逸人	一、一二三人
日本人	九七一人

合計二萬八千三百二十六人の少數であつて、其中にも日本人の九百七十一人は最も少數で又此の內『イグアペ』行植民及び自由渡航者を差引けば、州政府の補助の下に珈琲園行移民として渡來せる者は只僅かに五百二十五人である、又本年即ち千九百二十一年度の一月から六月までの上半期に於ける『サントス』港上陸、珈琲耕地行日本移民の數は百四十三人に過ぎないから、此の樣子では本年の移民は十二月末日までに五百人に達することも覺束なしと云はねばならぬ

▲然るに海外興業會社は嚮きに本年少なくも三千人の移民を『サントス』に招來すべきを聲明し、州政府も大に之を當にして居るのであるから、同會社も德義上其責任を果さゞる可からざるを思ひ、今般大阪商船、日本郵船の兩汽船會社に交渉し七月以降日本―伯國間の三等運賃を從來の二割減即ち一人二百圓に減額し尚ほ珈琲耕地行移民に對し、海興は二千人限り一人に付き五十圓計十萬圓の運賃補助を爲すに決したさうである、仍て七月以降珈琲耕地行移民の渡航運賃支出額を表に示せば次の如くとなる

▲一人當り運賃　二百圓
內差引くべき金額
△州政府補助金　百廿圓（英貨十五磅）
△海興の補助金　五十圓
差引
移民自己支出額　三十圓

●目下來航中の
聖州移民

諸外國から移民招來に腐心せる聖州政府の補助の下に珈琲耕地に來るべく目下航海中の移民數を擧ぐれば左の如くである

獨逸人	八八七名
西班牙人	一一二名
日本人	一四九名
其の他	二四名

●露國移民不合格

佛國政府の斡旋依賴に依り伯國に渡航することゝなつたランゲル將軍舊部下の露國人四百名が近頃サントスに到着したので移民收容所に容れて檢査して見ると、其七割は農業勞働者で無いと云ふことが判つたので、州政府は豫て佛國大使との約束に基き是等非農業勞働者の渡航運賃を總て佛國政府に負擔せしむることゝしたさうであるが、佛國政府こそトンダ厄介者を背ひ込んだものである、夫れに尚ほ露國人第二回の輸送は目下航海中であるとの事だが又落第か

●聯邦大統領
歡迎準備

聯邦大統領エピタシオ、ペソア氏の來聖は來月五日後に延ばされしが、其來聖は多分十日又は十五日頃ださうである

聯邦政府珈琲調節策の實行は著しく珈琲價格を引上げ、珈琲耕主は勿論州民一般に利益する處大なるを以て聖市に本部を有するブラジル農業協會は大統領の來聖を機とし一大宴會を催ふし且つ紀念品を贈呈し、感謝の意を表さんとて目下頻りに準備中である

●州統領轉地靜養

聖州統領ワシントン、ルイス氏は靜養の爲め前週土曜日午後家族同伴自動車にてグワルジャに赴かれたるが來月初めまで同地グランド、ホテルに滯留せらるべく、此の間各省長官は規定日に同地に到り政務を處理するとのことである

●レッサ博士逝去

法律家として又文學者として有名なる聯邦高等法院判事ペドロ、レッサ博士は長らく病氣の處去二十五日遂にリオの自邸に於て逝去したり、博士はミナス州に生れサンパウロ法律學校に學び後同校教授となり一九一一年現職に任ぜられたり、憲法學者にして多數の著書あり、享年六十二

●シャーガス博士

北米漫遊中の聯邦衛生局長カルロス、シャーガス博士は昨廿八日リオ入港の『ヴエストリス』號にて無事歸國多數官民に迎へられて上陸押寄せた記者連を相手に北米衛生施設、ロックフエラー研究所等の完備せる事を快活に語りたりと

●富岡、久保田兩氏の
歸國を送る

在伯十年間常に同胞の先驅者となり開拓者となつて農業界に貢献せられたる富岡漸氏と、アニューマス農場支配者の一人として伯國農業に一新機軸を現はされたる海外興業の久保田峰松氏及一族とは共に今回の河內丸にて歸國の途に就かるゝと云ふことであるが吾人は先づ以て兩氏の遠洋航路の無事を祈る

兩氏の立場は各異なるに於て歸國後の希望と活動振りとに相違あるは當然なるも、富岡氏は在伯十年の經驗より歸納せる米作を今後之を根底深く築き上ぐる爲め第一花嫁を迎へ、第二に資本を得て再び伯國の人となるべく、久保田氏は海興本店詰めとして在伯三年の實驗と氏の技能とを以て本店の伯國事業を更に進歩あらしむべく努力せらるゝであらうが、吾人の兩氏に對し特に望む所は伯國は如何に日本人の活動舞臺として有利有望であるかを故國の同胞に傳へて貰ひたいことである、伯國は兩氏の既に看破せらるゝ通り當に富源開發に利益あるのみならず、今後の世界的外交に於ても日本人の此の地に發展するを必要とする重大意味を有するのであるから、兩氏は此の兩サイドより伯國宣傳を最も徹底的に行らるゝと思ふが、尚ほお別れに際し特に此の事を願つて置く

●龍江重役近々來聖

降雪の爲めアンデス山越を中止しボリビアを經て亞爾然丁に出でられたる海外興業會社專務取締役龍江義信氏は愈々和蘭船リンブルジア號にてブエノスアイレスを發し海路來伯の旨電報ありたればサントス着は八月一日の豫定である

●一宮正金重役
リオ市出帆

當地を視察されたる正金銀行取締役一宮鈴太郎氏一行は去る廿五日午後『アルランザ』號にてリオ港出發亞爾然丁へ向はれたるが目的は南米及び歐羅巴に於ける同行支店の營業狀態並に營業地の國狀視察にありと

●河內丸のリオ入港は
廿九日の豫定

豫定日取より遲れたる日本郵船の河內丸は本廿九日リオに入港の豫定にて四五日碇泊の後日本へ向出帆の筈

●復々セントラル線の
滊車衝突

廿四日午後六時半リオ府郊外のデオドロ驛に於て轉轍手の過失よりパラカンビーよりの列車が線路を誤りサンタクルース行列車と衝突したる椿事あり中央驛に於ては急報に接し直ちに救護列車を現狀に派遣し負傷者には應急手當を施して病院へ送り死骸を收容する傍ら滅茶苦茶に破壞されたる汽罐車の片附等にて一時は非常な混雜を極めたり、死傷者の數は鐵道局の發表に依れば死者三、負傷者三〇なりと、然れども同線の頻々たる故障に憤慨し鐵道局の手當を受くるを肯んぜずして附近の醫院へ運ばれたる負傷者もありと云へば實際は之れ以上ならむ

●うどん會

富岡漸氏近日出帆の河內丸で一時歸國する爲出聖したのを機として廿七日午後七時半から上地旅館で送別會を兼ね『うどん』會例會が催された會するもの富岡、黑石、山口、三浦、戸塚、田中、天滿、笹原、村上、野村、齋藤、橋本、翁長の諸氏なり、此日は外にも送別會があつたので左黨の猛者連が大部分其方へ行きいつもの樣な賑ひはなかつたが各自未開地に於ける恐ろしい面白い經驗談を持ち出し大に話に花が咲いた、十一時富岡氏のボア、ヴイアヂを祈つて散會

●奥さん連のお茶の會

聖市の奥さん連は二十八日午後日本倶樂部へ今回歸國せらるゝ久保田夫人並に出聖中なる山根夫人を招待し送別の意味に於けるお茶の會を開けるが會する奥さん連十餘名にして中々盛會なりしと

●運動界●

●●●●●●壯年組對ミカド◎◎◎◎　野球仕合は來月一日（日曜）午前九時よりコンデ下にて擧行役割左の如し

壯年		ミカド
田中	投手	長谷川
笹原	捕手	神田
齋藤	遊擊	長谷川
明保	一壘	上田
股野	二壘	川上
村上	三壘	椎野
宮崎	右翼	横溝
渡邊	中堅	光安
戸塚	左翼	木原
山田	補缺	高橋
	同	石原

□□ 地方便り □□

▲サントス　春日副領事當地の邦人漁業問題に關し去廿五日出張せられカピタニア署長と種々打ち合せをなし邦人に有利なる許可を獲られ候は吾等漁業に從事する者の大に欣快を覺ゆる處に候先月水產局長は日本人にして歸化出願者六十五名を限りて假許可證を下附せらるゝ由申され候處副領事の御斡旋にて歸化出願者七十餘名に對し伯國人同樣漁業許可證を下附せらるゝ事となり在伯年數規定に滿たざる爲歸化出願資格なきも其意志ある者二十餘名に對しては假許可證を交附せらるゝ事と相成候茲に吾等の最も遺憾に堪えざる事は水上署長よりジュキア線イタニアエン驛及ペルイベ驛在住日本人が法令を以て禁止せられたるダイナマイトを使用して漁業を營み居れる由を聞かされたる事に候ダイナマイトを近海漁業に使用する事は日本に於ても禁止せられある事は皆承知の筈なれば外國人漁業取締の嚴重なる今日特別の取扱を以て許可せられ居る日本人漁夫の爲に今後斷然斯かる違法の行爲をなさゞる樣心がけられたきものに候副領事も之を聞かれて大に赤面したと云はれ候、多分總領事館より右兩驛附近在住邦人へ御注意ある事と存候へ共尚貴紙の餘白を藉りて注意を促し度候（一漁夫）

▲三角ミナス　一時米成金輩出して邦人農業者の羨望の的となつて居た當地方の米作地も一般的不景氣の爲め地主の懷具合が惡くなり小作人を虐めたのと米價下落で小作人は收支相償はなくなつたのとで二三年前の成金連は申すに及ばず大小の米作者殆んど破產し產のないものは借金を背負つて立ち切れず夜陰に乘じて筏で逃げ出した連中も少なくない、凡そ百家族許りの米作者がリオグランデ沿岸から立退いたので此地方は全く火が消えた樣だあの肥沃な米作適地今後果してどうなるやら（傍觀生）

●○○○○○○大正小學校後援會　は明三十日『土曜日』午後七時より總會を同校に於て催す由なるが、尚同日及翌三十一日の兩日生徒の學術品展覽會を開き一般の觀覽に供すべしと

●●●●●●●石井寫眞館の電話　市內石井寫眞館にては營業擴張と共に電話を架設し華客の便利を計ることゝなりたるが其番號は『シダーデ六〇二九』なり

□□ 人事來往 □□

●宇南山虎夫氏　日本貿易聖市出張所詰の同氏は今回ブエノス支店勤務に變り二十六日當地發モンテビデオを經てブエノスアイレスに赴かる

●數內春一氏　海外植民學校出身にして農商務省海外練習生たる同氏は先航來聖以來大島喜一氏と州內各地視察中の所昨二十八日陸路ブエノスへ歸還

●野村直記氏　ヒンドラマ驛イタジュビ耕地支配人の同氏は二十五日出聖上地旅館に投宿

大正小學校校舍新設費寄附者芳名幷に金額（第三回）

一金百五十ミル	久場吉太郎殿
一金百ミル	清水爲吉殿
同	中野佐々記殿
同	出原正造殿
同	藤井鎮右衛門殿
同	三谷正幸殿
同	田川六良衛殿
同	永田初太郎殿
一金五十ミル	細川正直殿
同	三宅甚三郎殿
同	前田芳次郎殿
同	久保庄右衛門殿

計一コントス五十ミルレース
累計八コント八百七十五ミルレース也

大正十年七月二十九日
大正小學校後援會々計
岡本龍太郎
山田隆次

▲正誤　第二回發表中の米田龜太郎氏金五十ミルレースとせしは金二十五ミルレースの誤りに付茲に訂正す

小生本日福岡縣人安武吉三郎氏家族岸本キク子孃と結婚致し候間辱知諸君へ謹告仕候

大正十年七月十七日
クラビニヨス驛ダス、フローレス耕地棉作地
平野正平

愛知縣人林富雄儀急病に罹り醫藥効なく七月十九日ブレシデンテペンナ驛尾藝植民地にて死去翌日ペンナ共同墓地に埋葬仕候間此段生前辱知諸君へ謹告仕候

父　林富三郎
親戚　坂部喜十郎
　富田鎌次郎
友人　竹澤松廣
　河尾利一
　伊藤助一
　上垣內助多
　鈴木來治
　柴山勘治
　古庄常喜
　矢野彦次郎
　山中與一

花の露　印油醬
Orvalho de Flor
K. Outa & Cia.
聖州衛生局の試驗を經て美味且つ滋養に富める優等製品に候へば是非一度御試用被下度尚今後益々勉强精製致し候間何卒倍舊の御愛顧賜度伏して願上候
釀造主　太田吉太郎
コンデサルゼーダス街九一番
特別販賣所　山田隆次
コンデサルゼーダス街六五番

大石內藏之助

第二十七回

牛井桃水

『全く夫に違ひはなかつた、汝はその噂を聞いて如何存じ居つたのか』

『大石樣御座なくば直樣御當地へ驅付けまして、討死なり追腹なり一命差出したで御座りませうが、御城代おはせられては、討死の追腹のと、左樣な事は決してないと、憚りながら存じますゆゑ、漸く今日御機嫌伺ひさして參上仕つて御座ります』

『世上の惡口、鮨の重しの大石ぢやきらず內藏ぢやと最初から、汝は見透し居つたさうな、、、、、、イヤ其の國亂れて忠臣顯はると承はつたが、先以て忠臣より、不忠臣の顯はれるは困つたもの、籠城の評議最中言はゞ敵とも申すべき、脇坂淡路守殿へ大砲を賣込んだ萩原兵助、同じく儀右衞門の兄弟、騷動まぎれに金を掠めて、何處ともなく逃失せ居つた中澤彌一兵衞、況して家老職を勤めながらへ此度の凶變を、餘所事のやうに心得、己れ一身の安固を謀る藤井又左衞門、安井彥右衞門、取分け大野九郎兵衞父子は、いちはやく當地を逃出し、慥か大阪をさして參つたとの風聞、汝見掛けは致さぬか』

『九郎兵衞父子の乘は、網干の村人に追拂はれ、須磨あたりから舟を傭うて、大阪へ參るとの知らせを承はりましたゆゑ、私奴は召使ひの者どもを引連れまして、晝夜舟着の場所を見廻り、待構へて居りまするを、ツイ此の程九郎兵衞父子は、果して川口に船を乘付け、のめ〱上陸致す樣子、祿盜人の汚れた足に、大阪の地は踏ますまい、天野屋利兵衞を見忘れたかと、高らかに呼掛けますると、またもや船を漕ぎ出して、命から〲逃失せました』

『恥曝しの不義者奴等さて〱小氣味の好い事であつたの』

『何は兎も角江戶への御發足は何日頃に御座りまする、怨敵吉良殿へのお討入りは、如何やうなお手配りか利兵衞奴が命は何の御用に差出しまするか、仰聞けられ下さりませう』と聲を祕めて問掛けた時、酒肴は運び出された。

『先づ酒に致した上、ゆる〱と申談じる』

* * *

大石內藏之助は同志の者にも、その胸中を打明けて、語つた事はないのである。夫れが天野屋利兵衞ばかりは、好く〱心底を見屆けたらしく、所存を殘らず告知らせ、吉良家討入の折の用意を、一切利兵衞に吩咐けた。

『畏まりまして御座ります、大阪を立ちまする時、もう生きては還らぬ覺悟、身代のふり分け方まで、それ〲に書遺し、妻子眷族にも餘所ながら、暇乞して參りましたが、唯今の仰せでは、まだ一年や半歲は、お討入にも間が御座りませう、御注文の品物は、きつとお間に合はせますかずならぬ利兵衞奴に一大事の御用命は、身に餘りました面目果報、何とお禮の申上げ樣も御座りませぬ、忝じけなう存じまする』と利兵衞は嬉し淚にくれた。

『代々高祿を頂きながら、主家の滅亡を知らぬ顏に、榮耀を計る士もあれば、見ぬふりしても濟むものを、わざ〲命捨てようといふ町人もある、誠に世はさま〲ぢやのう』

『して唯今お誂への夜討支度は、凡そお幾人前、用意致して置きませうか、大石樣のお見込は』

『されば三百餘人の御家中で、誠亡君のお爲に、命を捨る士が、五十人は慥にある筈、現在一味連判狀に血を洒いだ者の數は、六十餘名を算へても、いよ〱事を擧げるまでにはまだ十人から缺けるであらう』

『左樣なれば五十人前、用意致すで御座りませう』

『何分ともに賴み申す、汝を措いて此の大役、申し談ずる者はないのぢや』

『お見立に預りました町人利兵衞、きつと御用を勤めまするで御座りませう、夫に付きましても大石樣は、矢張當分御城下へ、お住居で御座りませうか』

『町人百姓の姿になれば、當地に住居致しても、苦しからぬと申す事ぢや、なれども大望を企てるには、日つき鼻つき何かと不便、先づ近い內京都へ上り、山科か伏見邊りへ、閑居を求めたいと存じ居る』

『京ならば私ども往來致しまするにも、誠に便利で御座ります』

『何れ京へ上る時は、汝の方へ立寄つて、またもや世話になるであらう』

『夫は是非とも私から、お願ひ申上げまする、お荷物の采領、何かと御用も御座りませう、餘り日數の掛りませぬ事なら、此の儘逗留致しまして、利兵衞御用を相勤めます』

『荷物は殘らず賣拂ひ、金にかへて所持致し、浪人の侘住居に、入用の諸道具は、彼の地へ參つて買調へる筈』

『何さま夫は好い御思案に御座ります、若しまた私どもで、お間に合ひまするものは、仰聞けられ下さりませう』

『田舍と違つて京都は便利、況して浪人の痩世帶、足るを知れば不足もあるまい』

『御同志のおん方樣は、殘らず京都へお引取りで御座りまするか』

『成るたけ人目に立ぬやう、先づ京へは某始め、小山、川村、潮田、大高、早水、貝賀、小野寺親子に武林、近松、大阪には原、千馬、矢頭親子に、小島、中村、加東郡には吉田親子、間瀨、木村、江戶には齋藤赤垣、片岡、磯貝、中村、前原、勝田、神崎、橫川、杉野、田中、堀部親子、また當地には岡島、岡野、渡邊、村野、茅野兄弟、間親子、奈良に大石孫四郎、瀨左衞門と、諸方へ散亂致す見込』

『私住居は恰ど眞中、何誰さまに限りませぬ、御用があらば何事でも、仰付けられて下さりませう』

『自然御世話にならうも知れぬ、何事も宜しいやうに』

主客ともに打くつろぎ、且酌み且語つて、夜の更けるのも覺えぬのである。

* * *

二更の頃暇を告げて、利兵衞は定宿に立歸り、翌早朝乘つて來た舟で大阪へ引かへした。

內藏之助は凶變以來、此の夜始めて枕に就いたが、依然おち〱寢る事もならず、朝は早く眼を覺した。

庭下駄を穿て後園へ廻り、漫に逍遙を試みて、築山の麓へ行けば、八助箒を執て、頻りに落花を掃寄せて居る。

『爺、相變らず早いのう』

『是は〱旦那樣こそ、お早いお目覺めで御座りました、奧樣や若旦那樣のお話では、もう五十日餘りといふもの、晝夜お城へお詰切り、肩衣取つてゆつくりと、お寢みなされた事もなく、何から何まで御精配、お城受取りの御上使方に、微塵指さヽれる事のないやう、且ても暮ても一方ならぬ、お心づかひなされたさうな、如何さま承はつて見れば、太うお痩せなされました』と顏を凝視て淚ぐむ。

『爺や必ず心配致すな、普代承恩のお主を失ひ、先祖代々住馴れた、家國に離れるのぢやもの、少し位は痩せもせう、さりながら最早此の後は爺同樣百姓となり、兩刀を賣拂つて鋤鍬に代るか、夫とも町人の仲間入りして、算盤秤の目をせヽるか、何れに致せ氣儘な身分、少々痩せた位な事は、直ぐ取返す事が出來るわ』

八助は聞かぬふりして、再びせつせと掃除を始めた。

婦人欄

◆男女兩性の根本義

きよ子

◆近頃段々女性の自覺と共に男女兩性問題が研究されて參りました、或る論者は女でも人間だから男の爲ること位ひは出來ぬことはないと申しますが、之も實は程度問題、で男女は先天的に男女の區別ある以上は、其發揮する所も自から異ならざるを得ないのであります。

◆進化論から申しますと、男女の相異は高等動物に進むに從つて其度甚しく人間殊に文明人に至つて絕頂に達するものだとされて居ります、それに又此の人間も身體と精神とが密接な關係を有つて居ります所から、少兒時代には何等兩性の親しむべき狀態が現はれて居らぬにも拘はらず謂ゆる內分泌の作用の起るに伴れ、異性の親しみを感ずる樣になるのであります。

◆尙ほ言葉を換へて申しますと、小兒とか老人とか云ふものは兩性の中間物でありますから、其樣子も擧動も自然似寄の點が多くありますが、內分泌が盛んなる年輩は生理的に男女の區別が著しい丈に、異性を愛する精神作用も盛んで、又兩者の發揮する方面も大に異なるのであります

◆ですから人間としては男女平等とは云ふものの其平等と云ふ意味に法律とか、宗敎とか、道德とかから云ふことで、智識や、能力や、體質の上からは根本的に男女の性質が異つて居りますと同時に、其爲すことも自から異ひますから、男女は互ひに持ちつ持たれつ、助け合ひ、補ひ合ふのが原則でなくてはならぬと思ひます。

◆然るに近頃の男女兩性は右の原則を無視して、單に人間は平等なりと云ふ標準の下に女が男の領域にまで進まうと致します傾向のあるのは、甚だ間違つたことであります、斯く申しますと女の能力の證左としまして、這般の大戰に際して歐洲に於ける多數の女が男に劣らぬ勞働に從事したことを例に擧げませうが、此の勞働なるものは謂ゆる急場の間に合せに過ぎないので、之に依つて女も男同樣長く急激な勞働に堪ゆると斷定しますことは誤つて居ります。

◆無論女と雖もマサカの時は男を凌ぐ程の働きを爲なければなりませんが、普通の場合は家庭を女の城郭として家庭を治めて行くと云ふことが女の最大任務でなければならぬと思ひます、ですから在伯の我が姉妹方も能く此處の道理を呑込まれて過去の虐げられた境涯から脫却すると同時に、女の女たる立場と任務とを端的に自覺される必要があります。

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.
(THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.)
Rua da Candelaria, No. 23
Caixa Postal 380
Rio de Janeiro

キリトリテ、テガミノ、オモテニ、ハラルベシ

鄕里送金

一、日本金に引直相場は當分伯貨四ミル七百レースにつき日本金壹圓

二、日本內地郵便爲替料、書留料其他總て當店に於て負擔いたし即ち全く無手數料にて御鄕里の受取人へ送り屆け申上候

三、金子は現金封入、郵便爲替又は銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶ほ橫濱正金銀行勘定として Banco Commercial do Estado de São Paulo へ御拂込被下候ても差支無之候

四、何れにしても送金申込書は必ず忘れずに當店へ御送り被下たく候

預金

日本貨定期預金利息	六ヶ月以上	年五分七厘
伯貨定期預金利息	六ヶ月以上	年五分五厘
	壹ヶ年以上	年六分
伯貨當座預金（小口）		年四分

◆預送金用紙は御請求次第直に御送り可致御不審の點は御遠慮なく御問合せ被下度候

◆預金通帳は書留郵便にて御送付可申上候間御申込の際最寄郵便局御指定相成候はゞ御便宜に有之候

リオ、デ、ジャネイロ
橫濱正金銀行支店

ANTUNES DOS SANTOS & COMP.
AGENTES DAS COMPANHIAS
NIPPON YUSEN KAISHA : OSAKA SHOSEN KAISHA

大阪商船會社定期船
●タコマ丸
七月二日神戶發
九月初旬サントス着豫定

日本郵船會社船
●河內丸
七月下旬ブエノスよりリオ寄航
南阿經由日本へ向ふ豫定

御用の方は左記へ御照會ありたし
アンツーネス、ドス、サントス會社
(Caixa Postal, 237)
Rua José Bonifacio 17, S. Paulo